

-(으)ㄴ세라

～するのではないかと（心配して）

心配して先回りする行動を表す文語です。日本語の「しないかと」に当たります。

■ つけ方

語幹	形	例
パッチムなし	-ㄴ세라	깨다 → 께세라
パッチムあり	-을세라	늦다 → 늦을세라
ㄹ 語幹	-ㄴ세라	알다 → 알세라
後ろ	用心する行動	조심조심 / 살금살금
よく使う語	깨다・늦다・들키다	困った事態
続けて書く	세라는語尾	께세라 (○)

■ 使い方と注意

心配して用心する様子を表します。아이가 께세라 조용히 문을 닫았다 (子どもが起きるのではないかと静かにドアを閉めた)。

後ろには用心した行動が来ます。조용히, 살금살금, 조심조심などの副詞と組むのが典型です。「そうならないように」という配慮の描写です。

文語です。小説や随筆で情景を描くときに使われ、日常会話にはまず出てきません。

-(으)ㄴ까 봐 が日常版です。께까 봐 조용히 했어요 (起きるかと思って静かにしました)。意味はほぼ同じで、こちらは会話でも使えます。

■ 例文

- 1 아이가 께세라 발소리를 죽이고 걸었다.
子どもが目を覚ましてはいけないと、足音を殺して歩きました。
- 2 행여 늦을세라 서둘러 집을 나섰다.
万一遅れてはいけないと、急いで家を出ました。
- 3 눈물을 들킬세라 고개를 돌렸다.
涙を見られてはいけないと、顔をそむけました。
- 4 행여 다칠세라 아이의 손을 꼭 잡았다.
万一けがをしてはいけないと、子どもの手をしっかり握りました。
- 5 모양이 흐트러질세라 조심스럽게 만들었다.
形が崩れてはいけないと、慎重に作りました。
- 6 비밀이 새어 나갈세라 목소리를 낮추었다.
秘密が漏れてはいけないと、声を低くしました。

■ 紛らわしいもの

-(으)ㄴ까 봐
日常的な言い方です。세라는文語で情景描写に使われます。
께까 봐 (日常) / 께세라 (文語)

-지 않도록
「しないように」で目的を示します。세라는心配の感情が前に出ます。
께지 않도록 (目的) / 께세라 (心配)

-(으)ㄴ까 하다
自分の迷いです。세라는他者への心配です。
께까 해요 (迷い) / 께세라 (心配)

■ まちがえやすい点

- ✕ 께 세라
○ 께세라
語尾なので続けて書きます。
- ✕ 친구야, 께세라 조용히 해.
○ 친구야, 께까 봐 조용히 해.
日常会話では ㄴ까 봐 が自然です。
- ✕ 좋을세라
○ 困った事態に使います
心配する内容を置きます。